

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成28年度～平成32年度（5年間）																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（いぶりとうぶ） 胆振東部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 胆振東部森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の南西部に位置する沙流川広域流域の西側にあたる胆振総合振興局管内にある苫小牧市、白老町、むかわ町に所在する約6,3千haの国有林を対象としている。</p> <p>本森林計画区は樽前山麓地域及び鶴川地域に大別され、樽前山麓地域は、オロフレ山・ホロホロ山・白老岳・樽前山を中心に、敷生川・白老川・苫小牧川・勇弘川を有する比較的平坦な山地で、トドマツ・アカエゾマツ等の人工林とトドマツ・エゾマツ・ミズナラ・カンバ類が混交する天然林で構成され、特に、人工林率の高い地域として、その殆どが苫小牧市等の下流域の都市の水源となっている。</p> <p>また、倶多楽湖・オロフレ山・ホロホロ山・白老岳・樽前山周辺及びポロト湖周辺は、優れた自然景観を有しており、支笏洞爺国立公園やレクリエーションの森に指定されている。</p> <p>鶴川流域に位置する山地は、トドマツ・エゾマツ・ミズナラ・カンバ類が混交する天然林を主体として、一部トドマツ等の人工林で構成されており、大半は、水源かん養保安林、土砂流出防備保安林に指定されている。</p> <p>本事業は、これらの地域の特性を踏まえて、森林の有する公益的機能の持続的発揮、また、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等に貢献するため、積極的に間伐を推進するとともに、針広混交林化・複層林化等を促進するため、育成複層林へ導くための施業等を推進し、健全で多様な森林の整備・保全及びその基盤となる林道等の路網の整備を進める。この場合、土砂の流出、水質汚濁の防止等に配慮し、森林生態系の保全に努めるものとする。</p>																						
	<table border="0"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>282 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>26,958 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>39.3 Km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.2 Km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>1,556,379 千円</td> </tr> </table>	主な事業内容	森林整備	更新面積	282 ha			保育面積	26,958 ha		路網整備	開設延長	39.3 Km			改良延長	0.2 Km	総事業費			1,556,379 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	282 ha																				
		保育面積	26,958 ha																				
	路網整備	開設延長	39.3 Km																				
		改良延長	0.2 Km																				
総事業費			1,556,379 千円																				
費用対効果分析	総便益（B）	26,523,360	千円																				
	総費用（C）	1,935,084	千円																				
	分析結果（B/C）	13.71																					
森林管理局事業評価技術検討会の意見	必要性、効率性、有効性の観点から事業実施が妥当であると考える。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、山地災害防止機能等の発揮が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本地域は、地域の水源として基幹産業である農業の振興に資する役割のほか、山地災害の防止に対する機能の発揮が求められており、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

別紙様式7

便 益 集 計 表

事業名:森林環境保全整備事業
 施行箇所:胆振東部森林計画区

都道府県名:北海道

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 (千円)	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	7,653,009	
	流域貯水便益	1,895,576	
	水質浄化便益	4,137,230	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,057,172	
環境保全便益	炭素固定便益	1,996,597	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	265,074	
	木材利用増進便益	175,831	
	木材生産確保・増進便益	1,831,286	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	273	
	森林管理等経費縮減便益	52,837	
	森林整備促進便益	458,475	
総 便 益 (B)		26,523,360	
総 費 用 (C)		1,935,084	
費用便益比	B ÷ C =		13.71

胆振東部森林計画区



「胆振東部森林計画区」
胆振東部森林管理署
森林整備: 更新: 282ha
 保育: 26,958ha
路網整備: 新設: 18路線
 改良: 2路線

胆振東部森林計画区(胆振東部森林管理署)
森林環境保全整備事業



地拵実施前



地拵作業実施後



植付作業実施後



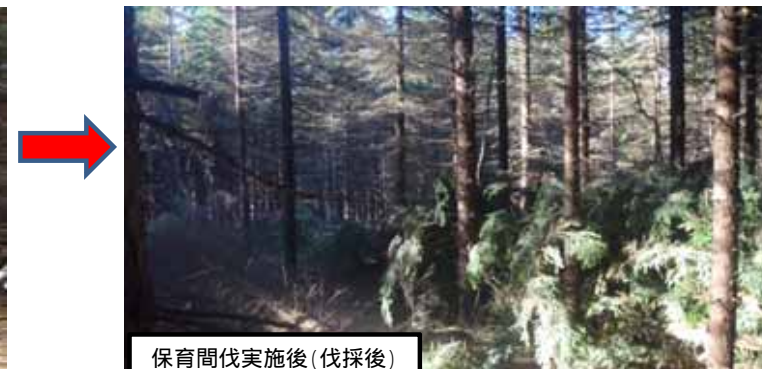
下刈り作業実施前



下刈り作業実施後



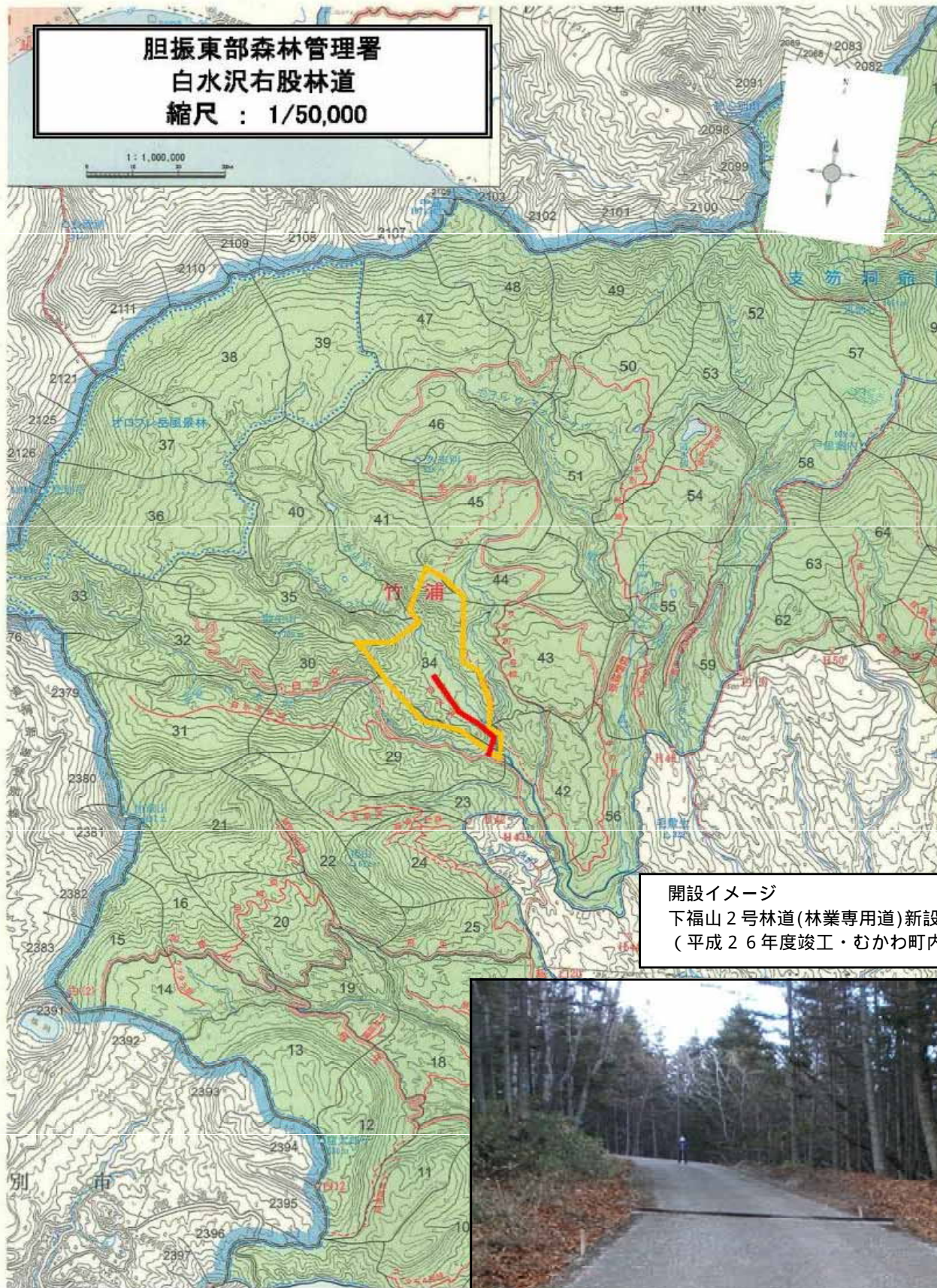
保育間伐実施前



保育間伐実施後(伐採後)

胆振東部森林管理署
白水沢右股林道
縮尺：1/50,000

1 : 1,000,000



開設イメージ
下福山2号林道(林業専用道)新設工事
(平成26年度竣工・むかわ町内国有林)

